



# 桂吉坊一人会

第三回 美馬旅館上方落語の夕べ

第十四回 ごふく美馬伝統芸能の夕べ

第三回 美馬旅館上方落語の夕べ

第十四回 ごふく美馬伝統芸能の夕べ

令和3年 11月6日(土)

令和3年 11月7日(日)

時間 18:00 開演 [17:30 開場]  
ところ 美馬旅館 四万十町本町3-4

昼席 12:00 開演 [11:30 開場]  
夜席 17:00 開演 [16:30 開場]  
ところ 料亭 濱長 高知市唐人町6-6

木戸銭 3,000円

木戸銭 6,800円 (お持ち帰り弁当つき)

お問い合わせ・チケットお申し込み

ごふく 美馬

高知市追手筋1丁目9-11

Tel. 088-824-5298

# 桂吉坊

かつら きちぼう

上方落語界の未来を背負って立つ花形ホープ。  
若手時代から安定した語り口と類稀な芸熱心で、  
うるさ方の落語ファンをも唸らせる実力派。  
落語のみならず山村流の上方舞、大倉流の能楽小鼓、  
観世流の謡などをおさめ、さらには文楽や歌舞伎、  
邦楽など古典芸能全般に精通する該博ぶりで、  
若手28歳で芸界の大御所に聞き書きをする大役を得て  
「桂吉坊がきく藝」を上梓。  
大師匠・米朝ゆずりの読書家としても知られ、  
蒐集した古書で溢れる自宅は「笑倉院」と称されている。  
若手から中堅の域にさしかかり、まさに油の乗った40歳。

## PROFILE

- 1981年 8月27日 兵庫県西宮市生まれ
- 1999年 1月 桂吉朝に入門 3月 初舞台
- 2000年 この年から2003年まで大師匠である桂米朝のもとで内弟子修業以後、古典落語を中心に舞台を重ねる。
- 2007年 G2プロデュースの舞台「地獄八景 浮世百景」で役者デビュー
- 2008年 映画「能登の花ヨメ」で謎の旅人として映画デビュー
- 2011年 咲くやこの花賞 大衆芸能部門 受賞
- 2012年 第49回なにわ芸術祭 新人賞
- 2014年 第9回繁昌亭大賞 奨励賞
- 2016年 国立演芸場 花形演芸大賞 銀賞
- 2019年 国立演芸場 花形演芸大賞 金賞
- 2021年 12月 尾上菊之丞・茂山逸平 二人会「逸青会」において台本を担当する新作「おかん」が上演予定

### 著書

「桂吉坊がきく藝」

2009年 朝日新聞出版

2013年 ちくま文庫



## 浅野 美希（唄と三味線）※高知公演のみ出演

あさのみき

京都府加佐郡大江町出身。京都市内の病院で看護師として働いていたが、三味線の音色に惹かれ、寄席囃子の世界へ。  
2003年 かつら枝代(桂枝雀夫人)に師事。寄席の三味線弾きとして活動を開始。  
2013年 上方唄松浪流家元・松浪千壽に師事。上方唄の習得に努め研鑽を積む。  
ごふく美馬伝統芸能の夕べには2017年に続き二回目の出演となるが、受け取ったギャラ以上の金額を着物代に費やすという、模範的被害者でもある。